

令和元年度 狭山市立中央中学校 学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。

※ 【評価の目安】

A : よくできている。 (90%以上)
C : あまりできていない。 (70%以上)

B : 概ねできている。 (85%以上)
D : できていない。 (70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	・職員会議や毎朝の職集で折に触れて校長・教頭から教職員に指導しています。教職員はほぼ全員理解しています。保護者アンケート「学校は教育方針を伝えている」の項目は93%でした。	・施設、設備に限られた予算の中でやりくりするのは大変なことだが、各自治会の中には様々な職業を経験された方が大勢いる。ボランティアを募集して手伝ってもらえば材料費のみの経費削減につながると思う。もっと周辺地域の方々の協力を募ってもよいのではないか。 ・生徒が学校生活が楽しいということはとても良いことである。先生方の頑張りが生徒にも届いているのだと思われる。 ・生徒の評価96%に比べて、保護者の評価91%と低いのは、学校からの情報発信不足もあると思われるが、家庭でも親子で会話する時間が少なかったりすることも考えられる。思春期の子供たちにはありがちなことと思われる。 ・各学年とも教室はもちろん、廊下の掲示物に工夫がみられることは素晴らしい。
	2	生徒は、学校生活が楽しいと感じている。	A	学校生活に関するアンケート(生徒用)では96%の生徒が、「学校は自分たちを成長させてくれている」と答えています。保護者は91%が「生徒は学校生活に満足している」と答えています。	
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	学校評価(教職員自己評価)では93%の教員が共通理解・共通行動がとれていると回答しています。	
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	B	昨年度より無言清掃に取り組んでいるが、清掃は未だ十分とは言えない。2年生の清掃に対する取り組みは他の範となるものである。次年度はこの取り組みを全学年で充実させ、中央中の新たな伝統としたい。	
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A	限られた予算の範囲内で優先順位をつけて修繕・改修をしています。「常を疑え」をモットーに生徒の目線で、安全・安心な学校づくりに努めています。	
学習	6	教師は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	A	学校生活に関するアンケート(生徒用)では「授業は分かりやすく、学力が身につけている」の項目で、肯定的な評価がすべての教科で88%を超えています。	・基礎的基本的な学力については、すべての学年が狭山市平均を上回るように先生方も努力してほしい。 ・1、2年生よりも3年生のほうが平均値を上回っていることは素晴らしい。最高学年として下級生の模範となっている。 ・中学生になると家庭学習の習慣をつけるのがとても大切である。今後もPTAからの家庭学習ノートは継続してほしい。 ・PTA家庭学習ノートの取り組みは、自分の努力の成果がノートの冊数増加という形で、自分の目で見て感じられるので、生徒にとってもやりがいを感じられると思う。 ・学年が上がるごとに学力が向上している。中央中学校で行われている教育が成果に結びついていると感じられる。
	7	生徒は、落ち着いた学習に取り組んでいる。	A	校長の教室訪問もほぼ毎日行われています。授業規律の徹底等、管理職からの指導や学年で連携して改善を図っています。授業中の姿勢を改善する必要があります。	
	8	生徒は、基礎的基本的な学力を身につけている。	B	学力調査の結果で本校は、1・2年生は狭山市の平均と同じか少し下に位置しています。3年生は、狭山市及び県の平均を若干上回っています。	
	9	生徒は、家庭学習の習慣を身につけている。	A	PTA家庭教育奨励費からの家庭学習ノート無償配布により、充実した家庭学習が行えている生徒が増えています。家庭学習の習慣が身につけていない生徒への働きかけが課題です。	
	10	生徒は、英語活動をととして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	A	生徒アンケートでは93%が肯定的な評価をしています。ALTを有効活用した授業も積極的に行われています。英検受験者も増えています。	
規律ある態度	11	生徒は、進んであいさつをしている。	A	相手の目を見て挨拶ができる、と来校者や地域の方々からお褒めの言葉を頂いています。さらに大きな声であいさつができるように指導を充実させます。	・規律ある態度については全体的に中央中生はよくできている。このまま継続してほしい。 ・挨拶や言葉遣い、時間を守るといった人と人との関わりの中で必要なものが備わっていてとても素晴らしい。 ・下校時に自転車の乗り方に関する苦情が多いのは、生徒も気が緩んでいるものと思われる。そういう時に事故は起こる。引き続き生徒への指導を徹底してほしい。
	12	生徒は、場に応じた言葉遣いができている。	A	言葉遣いの改善が徐々にみられます。入学当初は慣れあいの言葉遣いがみられますが、学年が上がるにつれて場に応じた言葉遣いができるようになっています。	
	13	生徒は、時間を守って生活している。	A	チャイムが鳴り終わる前に着席しています。時間通りに授業や朝会が開始できています。遅刻はほぼありません。今後も時間を守ることを徹底していきます。	
	14	生徒は、きまりを守って生活している。	A	大きな問題行動はほとんどありません。教職員は生徒の少しの変化も見逃すことがないように、アンテナを高くしています。	
	15	生徒は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	A	下校指導、清掃指導等すべての教師であっています。授業のチャイムより前に教室に行きます。教師は率先垂範して手本を示しています。	
健康・体力	16	学校は、生徒の体力を高めている。	A	体育科を中心に体力向上に取り組み、今年も体力テストには体育科以外の教員も積極的に参加しました。部活動も真面目に取り組む生徒が多いです。	・健康・体力については全般的に良い。このまま継続してほしい。 ・薬物、性教育については低年齢からの教育が必要になっている。今後もさらに重要になると思われる。 ・今年度は部活動や市綱引き大会等で素晴らしい活躍がみられた。先生方のご指導に感謝したい。
	17	生徒は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A	体育については95%の生徒が授業を楽しく取り組んでいます。保健学習や命の学習、食育についても計画的に実施されています。	
	18	生徒は、健康を意識した生活をしている。	A	薬物乱用防止教室、救急救命講習、性教育など健康や保健に関する学習を計画的に行っています。	
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	B	学校だよりや学年だよりは定期的に発行されています。学級通信により、生徒の学校での様子を家庭に伝える教職員が多くなりました。情報を積極的に発信していますが、保護者に渡していない生徒もいるようです。	・保護者の方から子供に「学校からの配布物はないの?」と聞く習慣をつけるように伝えることも大事である。 ・中央中の教師と保護者はとても密に関わっていると思われる。今後も協力体制を維持してほしい。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	A	PTA、くすの樹会、学校応援団などの団体が積極的に学校に関わってくれています。公民館や集会所、地域会議等の事業にも積極的に参加しています。	